

Ⅲ. 連結会計年度の開示事項

1. 自己資本の構成に関する開示事項 (単位:百万円、%)

項 目	令和3年度	令和4年度
コア資本に係る基礎項目		
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額	94,625	97,915
うち、出資金及び資本剰余金の額	27,955	27,935
うち、利益剰余金の額	66,983	70,293
うち、外部流出予定額(△)	313	312
うち、上記以外に該当するものの額	△ 0	△ 1
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	1,917	1,660
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	1,917	1,660
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の45%に相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	216	108
コア資本に係る基礎項目の額	96,759	99,684
コア資本に係る調整項目		
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライセンスに係るものを除く。)の額の合計額	602	506
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライセンスに係るもの以外の額	602	506
繰延税金資産(一時差異に係るものを除く。)の額	13	9
コア資本に係る調整項目の額	615	515
自己資本の額	96,144	99,168
リスク・アセット等		
信用リスク・アセットの額の合計額	933,772	916,949
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	980	980
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	△ 1,425	△ 1,425
うち、上記以外に該当するものの額	2,405	2,405
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額	43,781	44,304
リスク・アセット等の額の合計額	977,554	961,253
連結自己資本比率	9.83	10.31

2. 定量的な開示事項

(1) 自己資本の充実度に関する事項 (単位:百万円)

	令和3年度		令和4年度	
	リスク・アセット	所要自己資本額	リスク・アセット	所要自己資本額
イ. 信用リスク・アセット、所要自己資本の額の合計	933,772	37,350	916,949	36,677
① 標準的手法が適用されるポートフォリオごとのエクスポージャー	919,964	36,798	902,113	36,084
現金	-	-	-	-
我が国の中央政府及び中央銀行向け	-	-	-	-
外国の中央政府及び中央銀行向け	-	-	-	-
国際決済銀行等向け	-	-	-	-
我が国の地方公共団体向け	-	-	-	-
外国の中央政府等以外の公共部門向け	-	-	-	-
国際開発銀行向け	-	-	-	-
地方公共団体金融機構向け	585	23	585	23
我が国の政府関係機関向け	4,341	173	4,113	164
地方三公社向け	320	12	320	12
金融機関及び第一種金融商品取引業者向け	156,152	6,246	166,428	6,657
法人等向け	388,692	15,547	379,189	15,167
中小企業等向け及び個人向け	143,943	5,757	124,374	4,974
抵当権付住宅ローン	11,321	452	8,325	333
不動産取得等事業向け	88,610	3,544	86,633	3,465
三月以上延滞等	1,348	53	1,240	49
取立未済手形	130	5	123	4
信用保証協会等による保証付	16,298	651	21,257	850
株式会社地域経済活性化支援機構等による保証付	-	-	-	-
出資等	1,564	62	1,898	75
出資等のエクスポージャー	1,564	62	1,898	75
重要な出資のエクスポージャー	-	-	-	-
上記以外	106,654	4,266	107,622	4,304
他の金融機関等の対象資本等調達手段のうち対象普通出資等及びその他外部TLAC関連調達手段に該当するもの以外のものに係るエクスポージャー	55,903	2,236	54,652	2,186
信用金庫連合会の対象普通出資等であってコア資本に係る調整項目の額に算入されなかった部分に係るエクスポージャー	11,755	470	11,285	451
特定項目のうち調整項目に算入されない部分に係るエクスポージャー	14,869	594	15,111	604
上記以外のエクスポージャー	-	-	-	-
② 証券化エクスポージャー	1,177	47	998	39
③ リスク・ウェイトのみなし計算が適用されるエクスポージャー	11,640	465	12,823	512
ルック・スルー方式	11,640	465	12,823	512
④ 経過措置によりリスク・アセットの額に算入されるものの額	2,405	96	2,405	96
⑤ 他の金融機関等の対象資本調達手段に係るエクスポージャーに係る経過措置によりリスク・アセットの額に算入されなかったものの額	△ 1,425	△ 57	△ 1,425	△ 57
⑥ CVAリスク相当額を8%で除して得た額	10	0	34	1
⑦ 中央清算機関関連エクスポージャー	-	-	-	-
ロ. オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額	43,781	1,751	44,304	1,772
ハ. 連結総所要自己資本額(イ+ロ)	977,554	39,102	961,253	38,450

- (注) 1. 所要自己資本の額=リスク・アセット×4%
 2. 「エクスポージャー」とは、資産(派生商品取引によるものを除く)並びにオフ・バランス取引及び派生商品取引の与信相当額のことです。
 3. 「三月以上延滞等」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上延滞している債務者に係るエクスポージャー及び「我が国の中央政府及び中央銀行向け」から「法人等向け」においてリスク・ウェイトが150%になったエクスポージャーのことです。
 4. 当金庫は、基礎的手法によりオペレーショナル・リスクを算定しています。

<オペレーショナル・リスク(基礎的手法)の算定方法>

$$\frac{\text{粗利益(直近3年間のうち正の値の合計額)} \times 15\%}{\text{直近3年間のうち粗利益が正の値であった年数}}$$

5. 連結総所要自己資本額=連結自己資本比率の分母の額×4%

(2)信用リスクに関する事項(リスク・ウェイトのみなし計算が適用されるエクスポージャー及び証券化エクスポージャーを除く)

イ. 信用リスクに関するエクスポージャー及び主な種類別の期末残高

<業種別・残存期間別> (単位:百万円)

業種区分 期間区分	信用リスクエクスポージャー期末残高								3月以上延滞 エクスポージャー	
	貸出金、コミットメント及び その他のデリバティブ以外の オフ・バランス取引				債券		デリバティブ取引			
	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度
製造業	413,371	407,006	344,155	338,069	69,215	68,921	1	14	351	353
農業	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-
林業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
漁業	1	0	1	0	-	-	-	-	-	-
鉱業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
建設業	183,858	185,520	177,259	179,476	6,598	6,043	-	-	119	230
電気・ガス・熱供給・水道業	17,040	16,021	432	412	15,608	15,609	-	-	-	-
情報通信業	12,198	12,223	6,907	7,009	4,958	4,958	-	-	-	0
運輸業	80,427	77,445	63,026	61,935	17,400	15,509	-	-	56	6
卸売業、小売業	195,495	195,810	178,069	178,363	17,421	17,422	4	24	187	207
金融業、保険業	1,256,900	1,169,032	80,998	80,985	133,957	129,784	19	15	-	-
不動産業	234,569	238,540	216,184	220,652	18,385	17,887	-	-	245	220
各種サービス	142,026	141,073	139,197	138,243	2,829	2,829	-	-	132	126
国・地方公共団体等	214,823	206,690	72,077	65,463	141,972	140,600	-	-	-	-
個人	168,554	166,281	168,554	166,281	-	-	-	-	343	212
その他	70,351	73,643	-	-	599	1,018	-	-	-	-
業種別合計	2,989,620	2,889,291	1,446,863	1,436,896	428,947	420,587	25	53	1,435	1,357
1年以下	338,685	257,633	139,581	139,522	7,639	16,349	5	38	-	-
1年超3年以下	435,106	407,968	103,479	98,234	28,754	26,854	2	1	-	-
3年超5年以下	207,977	314,678	162,731	151,154	38,456	60,782	0	0	-	-
5年超7年以下	251,790	284,557	166,535	176,086	85,083	78,463	1	7	-	-
7年超10年以下	599,314	622,846	450,756	466,245	148,548	124,096	9	4	-	-
10年超	544,820	520,601	421,548	403,592	106,266	100,007	5	2	-	-
期間の定めのないもの	611,925	481,005	2,230	2,058	14,199	14,032	-	-	-	-
残存期間別合計	2,989,620	2,889,291	1,446,863	1,436,896	428,947	420,587	25	53	-	-

- (注) 1. オフ・バランス取引は、デリバティブ取引を除く。
 2. 「3月以上延滞エクスポージャー」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から3月以上延滞している債務者に係るエクスポージャーのことです。
 3. 上記の「その他」は、裏付となる個々の資産の全部又は一部を把握することや、業種区分に分類することが、困難なエクスポージャーです。具体的には現金、固定資産等が含まれます。
 4. CVAリスク、中央清算機関関連エクスポージャー、及びリスク・ウェイトのみなし計算が適用されるエクスポージャーは含まれておりません。
 5. 有価証券には、外国証券(円建て外債及びユーロ円債(令和3年度41,653百万円、令和4年度38,969百万円))が含まれています。
 6. 債務保証には、外国子会社向けの保証(令和3年度253百万円、令和4年度263百万円)が含まれています。
 ※当金庫は国内の限定されたエリアにて業務活動を行っているため、「地域別」の区分は省略しております。

ロ. 一般貸倒引当金、個別貸倒引当金の期末残高及び期中の増減額

当開示項目は大阪シティ信用金庫単体と同じ数値であるため省略いたします(69ページ参照)

ハ. 業種別の個別貸倒引当金及び貸出金償却の額等

当開示項目は大阪シティ信用金庫単体と同じ数値であるため省略いたします(70ページ参照)

ニ. リスク・ウェイトの区分ごとのエクスポージャーの額等(単位:百万円)

告示で定める リスク・ウェイト区分(%)	エクスポージャーの額			
	令和3年度		令和4年度	
	格付適用有り	格付適用無し	格付適用有り	格付適用無し
0%	1,317	1,205,569	10	1,018,637
10%	-	216,195	-	264,133
20%	27,348	637,763	34,343	774,531
35%	-	20,290	-	17,622
50%	218,552	31,251	123,425	26,224
75%	-	147,774	-	147,256
100%	8,951	433,740	6,767	435,799
150%	-	583	-	515
250%	-	40,280	-	40,022
小計	256,170	2,733,449	164,547	2,724,743
合計	2,989,620		2,889,291	

- (注) 1. 格付は適格格付機関が付与しているものに限ります。
 2. エクスポージャーは信用リスク削減手法適用後のリスク・ウェイトに区分しております。
 3. コア資本に係る調整項目となったエクスポージャー(経過措置による不算入分を除く)、CVAリスク、中央清算機関関連エクスポージャー、及びリスク・ウェイトのみなし計算が適用されるエクスポージャーは含まれておりません。

(3)信用リスク削減手法に関する事項

当開示項目は大阪シテイ信用金庫単体と同じ数値であるため省略いたします(70ページ参照)

(4)派生商品取引及び長期決済期間取引の取引相手のリスクに関する事項

当開示項目は大阪シテイ信用金庫単体と同じ数値であるため省略いたします(71ページ参照)

(5)証券化エクスポージャーに関する事項

イ. 連結グループがオリジネーターの場合

当開示項目は大阪シテイ信用金庫単体と同じ数値であるため省略いたします(71ページ参照)

ロ. 連結グループが投資家の場合

当開示項目は大阪シテイ信用金庫単体と同じ数値であるため省略いたします(72ページ参照)

(6)出資等エクスポージャーに関する事項

イ. 連結貸借対照表計上額及び時価等

当開示項目は大阪シテイ信用金庫単体と同じ数値であるため省略いたします(72ページ参照)

ロ. 出資等エクスポージャーの売却及び償却に伴う損益の額

当開示項目は大阪シテイ信用金庫単体と同じ数値であるため省略いたします(72ページ参照)

ハ. 連結貸借対照表で認識され、かつ、連結損益計算書で認識されない評価損益の額

当開示項目は大阪シテイ信用金庫単体と同じ数値であるため省略いたします(72ページ参照)

ニ. 連結貸借対照表及び連結損益計算書で認識されない評価損益の額

該当する評価損益の額はありません。

(7)リスク・ウェイトのみなし計算が適用されるエクスポージャーに関する事項

当開示項目は大阪シテイ信用金庫単体と同じ数値であるため省略いたします(72ページ参照)

(8)銀行勘定における金利リスクに関する事項

①「銀行勘定の金利リスク」(IRRBB)(単位:百万円)

IRRBB 1: 金利リスク					
項番		イ		ロ	
		ΔEVE		ΔNII	
		当期末	前期末	当期末	前期末
1	上方パラレルシフト	16,726	17,534	447	0
2	下方パラレルシフト	0	0	2	1,486
3	スティープ化	10,763	14,017		
4	フラット化				
5	短期金利上昇				
6	短期金利低下				
7	最大値	16,726	17,534	447	1,486
		ホ		ヘ	
		当期末		前期末	
8	自己資本の額	99,168		96,144	

②内部管理 (VaR)(単位:百万円)

	当期末	前期末
銀行勘定の金利リスク(連結)	12,880	5,734

(注) 1. 金利リスクの算定手法の概要等は「定性的な開示事項」の項目に記載しております。
 2. 「内部管理 (VaR)」については、実績データに基づいて貸出および定期預金の期限前償還率を反映させています。